



(1)

「あんぜんブラザーズのだいぼうけん」

作：京都府交通安全協会

はじまり、はじまり〜

アンくとゼンくんは仲良し兄弟、あんぜんブラザーズ。

赤い帽子の、お兄ちゃん『アンくん』は、

来年から小学生になる年長さん。

青い帽子の、弟の『ゼンくん』は元気いっぱい年中さん。

今日は、ゲームの世界で、ゴールを目指して大冒険！

ゴールのおばあちゃんのお家を目指そう！

さあ、冒険のはじまりだ！

★みんなもあんぜんブラザーズと一緒に  
交通安全について考えながら進もう！

〜ぬく〜

演出ノート

このスペースは  
読み聞かせの際の  
演出の参考や  
メモに使用して  
ください。

注意

★付きの文章は、  
こどもたちに向けて  
投げかけてください。

この枠内の文章は  
読まずに進んでも  
ストーリーに影響は  
ありません。

※7・8ページに  
自転車に乗る場面が  
あります。  
読まずに進んでも  
ストーリーに影響は  
ありません。  
各地域や園の決まりに  
合わせてください。

★子どもたちに  
向けて



(2)

スタートを出発して、まっすぐ進むと、  
アンくとゼンくんの前に、標識さんが現れました。

「アンくん、ゼンくん、こんにちは！」

これからゴールまで、

交通ルールを守って進んでいってね！

正しかったらお星さまをあげるよ！

お星さまを5個集めてゴールまで行ってね！」

「うん！任せて！」

「がんばるぞー！」

ふたりは元気よくお返事をしました。

★アンくとゼンくんが悩んでいるときは  
みんなが教えてあげてね！

——ぬく——

★子どもたちに  
向けて



(3)

「じゃあ、まずは「こ」！ ふたりが進んでいいのは  
赤い標識と青い標識、どっちかな？」  
「うーんと…」

★みんなはわかるかな？

「わかった！ こっち！ 青いほう！」  
ふたりは元気よく答えました。

※ピコーン！ 大正解！ お星さまゲット〜！

「そう！ 青い標識だね。」

青い標識は「歩行者専用道路」の標識、  
赤い標識は「歩行者通行止め」の標識だよ。

アンくんとゼンくんは、歩いているよね。

だから「歩行者」になるよ。

進んでいいのは、青い標識のほうになるよ！

「わかった！ 間違えないよう気をつけるね！」

アンくん和ゼンくんは、お礼を言って、進みました。

ー ぬく ー



「歩行者専用」の標識

この標識より先は歩行者専用道路となります。  
歩行者以外が通行することはできません。  
(許可を得ている場合等例外有)



「歩行者通行止め」の標識

歩行者の通行ができないことを示しています。  
車両の通行はできます。

★子どもたちに  
向けて

※ 「お星さまゲージ」に  
星を1つ貼り付けて  
ください。



(4)

「おっと危あぶならい！」

うんちを飛とび越こえて、まっすぐ進すすむと、

次つぎに現あらわれたのは、青あお色の、三さん角かく頭あたまの標ひょう識しきさん。

「ぼくは何なんの標ひょう識しきでしようう？」

★みんなはわかるかな？

「横おう断だん歩ほ道どう！」

アンくんは元げん気きいっぱい答こたえました。

※ピコーン！ 大だい正せい解かい！ お星ほしさまゲット！

「正せい解かい！ 僕ぼくがいたら、

近ちかくに横おう断だん歩ほ道どうがあるってことなんだよ。

車くるまに気をつけてね」

「わかった！」

ふたりは元げん気きいっぱいお返へん事じをして、次つぎへ進すすみました。

— ぬく —

「横おう断だん歩ほ道どう」の標ひょう識しき

この標ひょう識しきのすぐ近ちかくに横おう断だん歩ほ道どうがあることをしていま



幼稚園・小学校の周しゅう辺へんに設せ置ちされている

横おう断だん歩ほ道どう指し示じ標ひょう識しき



一いっぱんでき 道どう路ろに設せ置ちされている

横おう断だん歩ほ道どう指し示じ標ひょう識しき

★子こどもたちに  
向むけて

※ 「お星ほしさまゲッジ」に  
星ほしを1ひとつ貼はり付つけて  
ください。



(5)

少し進むと、そこにいたのは…

「わたしたちが誰か、わかるかな？」

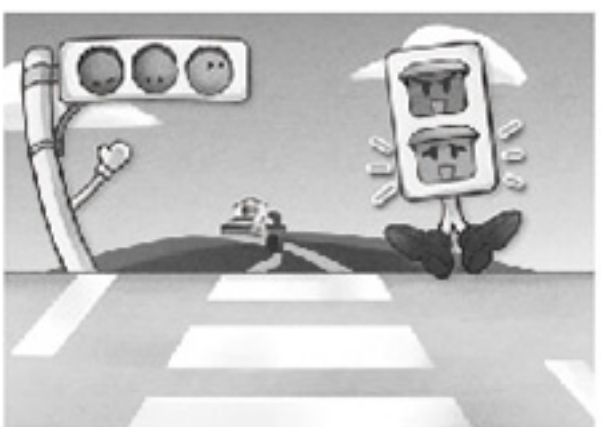
★みんなはわかるかな？

★子どもたちに  
向けて

「そう！ 横断歩道のそばにいる  
歩行者用の信号機さまだ！」

「わたしたちは簡単には星をあげないぞ！  
きちんと横断歩道を渡ることができるか  
試してあげよう！」

——ぬく——



(6)



右 (みぎ) ▶

「信号は青色だから、渡っていいよね！  
簡単！」  
ゼンくんが言いました。  
すると、アンくんは首を横に振りました。

「ちょっとちがうよ！」

青色だけど、まわりをしっかりと見て、  
安全かどうか確認しなきゃ！」

★みんなで、一緒にやってみよう！  
右を見て、車は止まっているかな？ (◀左の紙を開く)  
左を見て、危ないものはないかな？ (▶右の紙を開く)  
もう1回、右を見て、安全だったら渡る！

※ピコーン！ 大正解！ お星さまゲット！

ぬく



◀左 (ひだり)

★子どもたちに  
向けて  
実際に顔を動かして  
左右の確認を行って  
ください。

※  
「お星さまゲージ」に  
星を1つ貼り付けて  
ください。



(7)

「大正解」  
だいせいかい

しっかり安全を確認して渡れた、

いいこの君たちには

レアアイテムの自転車をあげようじゃないか!

そう言って、2人分の自転車をくれました。

「ありがとう!」これでもっとはやく進めるね!

ふたりは喜んで自転車で乗りました。

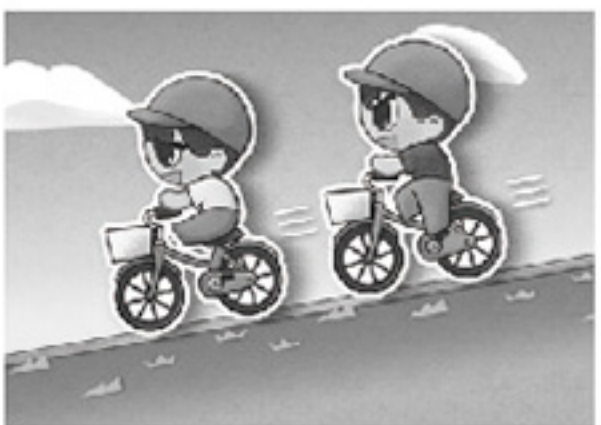
「自転車に乗っても、まわりをよく見て進むんだよ!」

「はーい!」

元気よくお返事をして、しゅっぱー!

——ぬく——

※7・8ページは  
自転車に乗る場面が  
あります。  
読まずに進んでも  
ストーリーに影響は  
ありません。  
各地域や園の決まりに  
合わせてください。



(8)

自転車スイスイ！ ふたりはどんどん進みます。

「この道は知ってるから、僕が先に行く！」  
とゼンくんが前に出ました。

「うん、任せた！ 気を付けてね！」

アンくんは、ゼンくんの後ろに並びました。

★みんなも自転車に乗るときは、縦に並ぼうね！※

——ぬく——

※7・8ページは  
自転車に乗る場面が  
あります。  
読まずに進んでも  
ストーリーに影響は  
ありません。  
各地域や園の決まりに  
合わせてください。

※道路標識等により  
並進可とされている  
道路以外では、  
自転車での並走は  
違反となります。





(9)

ふたりはぐんぐん進みます。

「ちょっと待った!」

そこに現れたのは、赤い標識さん。

「僕が何の標識か、わかるかな?」

★みんなはわかるかな?

「知ってるよ!」「止まれ」だよね!」

ゼンくんは元気よく答えました。

標識さんが言います。

「正解だけど、もっと詳しく言おうと…」

「わかってるよ!」

ゼンくんは、標識さんの話を聞かずに、道路に飛び出してしまいました。

あれ? 前から車さんが来てるよ! ゼンくん、危ない!

— ぬく —



「止まれ」の標識

「一時停止」を意味します。

この標識のある場所では、停止線や交差点の直前で

一時停止をし、左右の安全を確認後、

ゆっくりと進まなければなりません。

★子どもたちに  
向けて



遠とおくにいたはずの車くるまさんが、  
気がきつければもうすぐ目の前まえに！

「わあ~~~~~」

キキーン！

——ぬく——

(10)



( 1 1 )

「あ、危<sup>あぶ</sup>なかつた〜！」

車<sup>くるま</sup>さんが急<sup>いそ</sup>いで止<sup>と</sup>まったおかげで、

ゼン<sup>くるま</sup>くんと車<sup>くるま</sup>さんはぶつかりませんでした。

ゼン<sup>な</sup>くんは、泣<sup>な</sup>きそうになるのを我<sup>がまん</sup>慢<sup>まん</sup>しながら言<sup>い</sup>いました。

「だって車<sup>くるま</sup>はすっごく遠<sup>とお</sup>くにいたから、

大<sup>だい</sup>丈<sup>じょう</sup>夫<sup>ぶ</sup>だと思<sup>おも</sup>ったんだ…！」

そんなゼン<sup>くるま</sup>くんに車<sup>くるま</sup>さんが言<sup>い</sup>います。

「車<sup>くるま</sup>って、みんなが思<sup>おも</sup>ってるより、すっごく早<sup>はや</sup>いんだよ！」

——ぬく——



(12)

標識さんが、焦った顔で言います。

「僕はね、止まるだけの標識じゃないんだ。

止まったら、みぎ・ひだり、車が来ていないか、  
危ないものがないか、しっかり見ようね」

車さんが、頷きながら言いました。

「遠くに車が見えていても、無茶はしないで、  
絶対に安全になってから、前に進もうね」

「はあ…」

ゼンくんはお返事をしました。  
でも元気がありません。

——ぬく——



(13)

「怒られちゃった。もう怒られたくないから、

今度からはちゃんと気を付けるよ」

と、ゼンくんはしょんぼり。

そんなゼンくんは、アンくんは…

「標識さんはゼンくんのごことが大好きだから、

ゼンくんが怪我をしないために教えてくれたんだよ」

「怒られるから」じゃなくて、怪我をしたり、

怖い思いをしないために、ちゃんとルールを守ろうね」

そう言うアンくんは、キリッとしていて、

なんだかいつもよりかっこいい、

お兄ちゃんの顔をしていました。

ピコーン！ 大正解！

あれれ？ なんてかな？

——ぬく——



(14)

「アンくんのお言ひとおりー！ よくわかっているねー！」  
標識さんがパチパチと拍手をしました。

「アンくんにはお星さまをあげようね。注意して運転を  
してくれていた車さんにも『ありがとう』だね」

標識さんはにっこり笑って、お星さまを  
アンくんに渡しました。

「車さん、標識さん、ありがとうー！」  
アンくんは元気よくお礼を言いました。

でもゼンくんはまたしょんぼり。

「ぼくはお星さまをもらえないよね…」

悲しそうなゼンくんを見たアンくんは…

——ぬく——



(15)

ばきっ！

アンくんは貰ったお星さまを半分<sup>はんぶん</sup>に割<sup>わ</sup>って、  
片方<sup>かたほう</sup>をゼンくん<sup>ぜんくん</sup>にあげました。

アンくんが言<sup>い</sup>います。

「僕は来年<sup>らいねん</sup>から小学生<sup>しょうがくせい</sup>。」

ゼンくんや年下<sup>としした</sup>の子<sup>こ</sup>たちの良<sup>い</sup>いお手本<sup>てほん</sup>になるよう<sup>な</sup>  
小学生<sup>しょうがくせい</sup>になり<sup>たい</sup>んだ。

さっきはゼンくん<sup>ぜんくん</sup>が飛<sup>と</sup>び出<sup>だ</sup>す前<sup>まえ</sup>に止<sup>と</sup>められ<sup>な</sup>かつたから…  
だから今日<sup>きょう</sup>は半<sup>はん</sup>分<sup>ぶん</sup>こ！

※ピコーン！ お星<sup>ほし</sup>さま 半<sup>はん</sup>分<sup>ぶん</sup>こゲツト！

にっこり笑<sup>わら</sup>うアンくん。

ゼンくんも、釣<sup>つ</sup>られて笑<sup>えがお</sup>顔<sup>が</sup>になりました。

「元<sup>げん</sup>気<sup>き</sup>を出<sup>だ</sup>して進<sup>すす</sup>もう！ ゴール<sup>ごーる</sup>まであと少<sup>すこ</sup>し！」

——ぬく——

※ 「お星<sup>ほし</sup>さまゲージ」に  
星<sup>ほし</sup>（半<sup>はん</sup>分<sup>ぶん</sup>ずつ）を  
貼<sup>は</sup>り付<sup>つ</sup>けてください。





(16)

『止まれ』の標識を通り過ぎると、

ゴールのおばあちゃんのおうちが見えてきました。

「やったー！ もうすぐだー！」

ふたりは駆け足でゴールに向かいます。

すると…不思議な声が…

「ふっふっふ、

待っていたぞ…あんぜんブラザーズ…」

「だれ!?!」

——ぬく——





(17)

バサーツ！

マントをひるがえして、出てきたのは…

「わっはっは！」

またまた参上！ 信号機さまだ！

信号機は、道路にたくさんあるからな！

さっきは無事に渡れたようだけど、

もう1度試してあげよう！

「どうしよう、ちゃんどできるかな」

「僕たちなら大丈夫！」

★みんなもあんぜんブラザーズと一緒に  
横断歩道を渡ってみよう！

— ぬく —

★子どもたちに  
向けて



「えーっと、信号の色は？」

★みんなはわかるかな？

「青色！」

「そう、青！ 渡っても大丈夫な色だ！ でもその前に、まわりをしっかりと見て安全を確認するんだぞ！」

★一緒にやってみよう！

右を見て、車は止まっているかな？ (◀左の紙を開く)  
左を見て、危ないものはないかな？ (▶右の紙を開く)  
もう1回、右を見て、安全だったら渡る！

ピコーン！ 大正解！ お星さまゲット！

「やったー！ ゴールだーだー！」

ーぬくー

(18)



◀左 (ひだり)



右 (みぎ)▶

★子どもたちに  
向けて

★子どもたちに  
向けて  
実際に顔を動かして  
左右の確認を行って  
ください。

※  
「お星さまゲージ」に  
星を1つ貼り付けて  
ください。



(19)

ゴールのおばあちゃんの家いえに到着とちやくしたあんぜんブラザーズ。

「よく来たねえ」

おばあちゃんはクッキーを焼やいて待まっていてくれました。

ゼンくんは

「お兄にいちゃんが、かっこよかった！」

とこれまでのことをおばあちゃんに話はなしました。

アンくんは、少すこし照てれくさそう。

アンくんもゼンくんも、少すこし成せい長ちやうできました。

★アンくんとみんなは、来らい年ねんから小しょう学がく生せい。

ゼンくんや年とし下したの子こたちから見みて、

かっこいいお兄にいさんやお姉ねえさんになるために、

交こう通つうルールをしまつかり守まもろうね！

みんなはできるかな？

—— おしまい ——

★子こどもたちどもに  
向むけて

# 紙芝居「あんぜんブラザーズのだいぼうけん」説明書①(1/3P)

この紙芝居には、お話を読み上げる以外の動作が含まれます。動作については下記を参考にして行ってください。  
 下記のとおり動作を行わなくてもお話に影響はありませんが、紙芝居の読み聞かせの前に、必ずこの説明書を読んでください。

## 7・8P

7・8Pでは、あんぜんブラザーズ（年長さん・年中さん）が子どもだけで自転車に乗る場面があります。  
 7・8Pをまるごと飛ばして読んでもお話に影響はありません。各地域や園の決まりに合わせてください。

## 6・18P

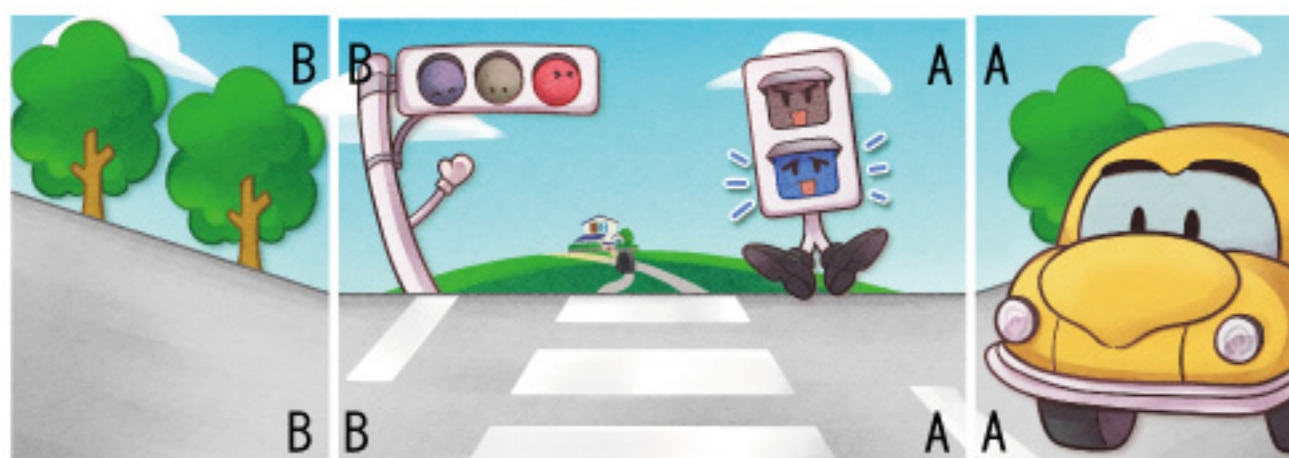
6・18Pでは、横断歩道での左右確認のシミュレーションを実際に行います。画像のA・Bを貼り合わせて使用してください。裏面、点線四角内の指示に合わせ、紙芝居の左右の扉を開いてください。

### ▼6・18P 裏面、該当文章

★一緒にやってみよう！

右を見て、車は止まっているかな？（左の紙を開く）  
 左を見て、危ないものはないかな？（右の紙を開く）  
 もう1回、右を見て、安全だったら渡る！

### ▼6P 表面イラスト



「左を見て～」で開く

「右を見て～」で開く

### ▼18P 表面イラスト



「左を見て～」で開く

「右を見て～」で開く

### ▼6・18P 紙芝居を上から見た図

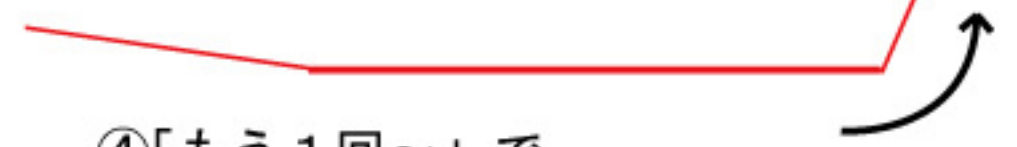
①開く前の状態



②「右を見て～」で開く



③「左を見て～」で開く  
 右は開いたまま



④「もう1回～」で、  
 もう1度右の確認をする

## 紙芝居「あんぜんブラザーズのだいぼうけん」説明書②(2/3P)

3・4・6・15・18P

3・4・6・15・18Pでは、あんぜんブラザーズが交通安全クイズに正解してお星さまを貰います。別紙の「お星さまゲージ」と「お星さま」を印刷すると、演出として使用できます。裏面の「ピコーン！大正解！お星さまゲット！」という文章を読み終わったら、下記・説明書③のように、お星さまゲージにお星さまを貼り付けてください。

※お星さまゲージがなくても、紙芝居を読むうえでストーリーに影響はありません。

## ▼お星さまゲット演出セット

①お星さま作中使用分（星4個＋割れた星1個）



※お星さまの裏面に、テープやマグネット、マジックテープ等を貼り付けて使用してください。

②お星さまゲージ



## ▼設置イメージ写真



この写真は、お星さまゲージをパネルに貼り付けて、自立するよう制作したものです。設置イメージ写真のように、状況に合わせてご使用ください。

# 紙芝居「あんぜんブラザーズのだいぼうけん」説明書③(3/3P)

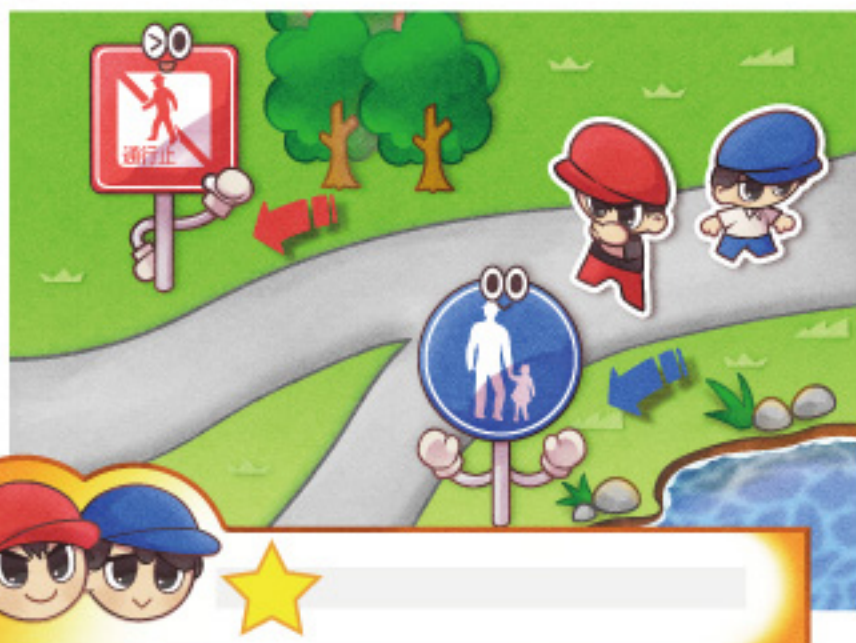
3・4・6・15・18P

各Pの裏面の「ピコーン！大正解！お星さまゲット！」という文章を読み終わった後に専用プレートに星を貼り付けていくと、下記のように星が増えていきます。

※お星さまゲージがなくても、紙芝居を読むうえでストーリーに影響はありません。

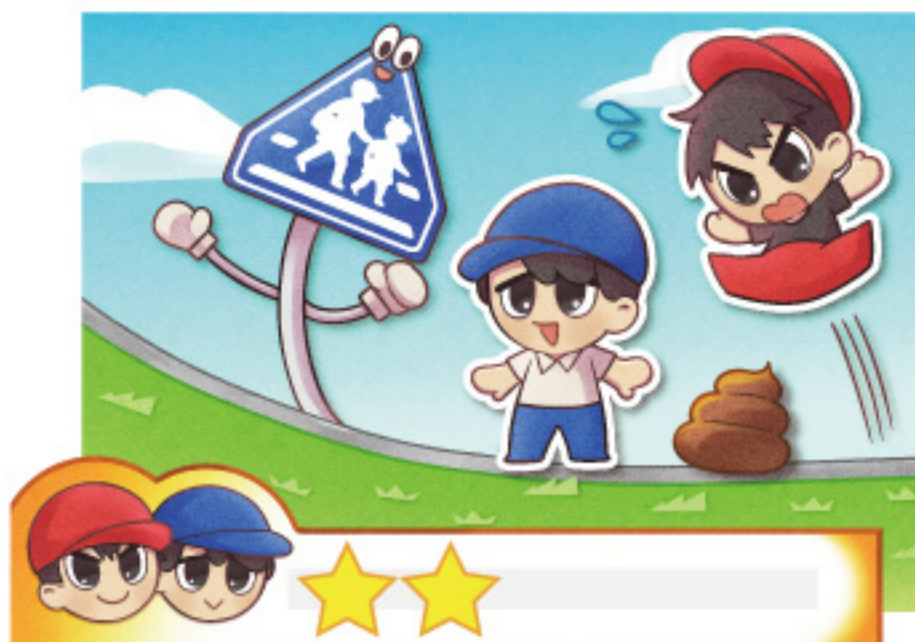
3P

標識の2択



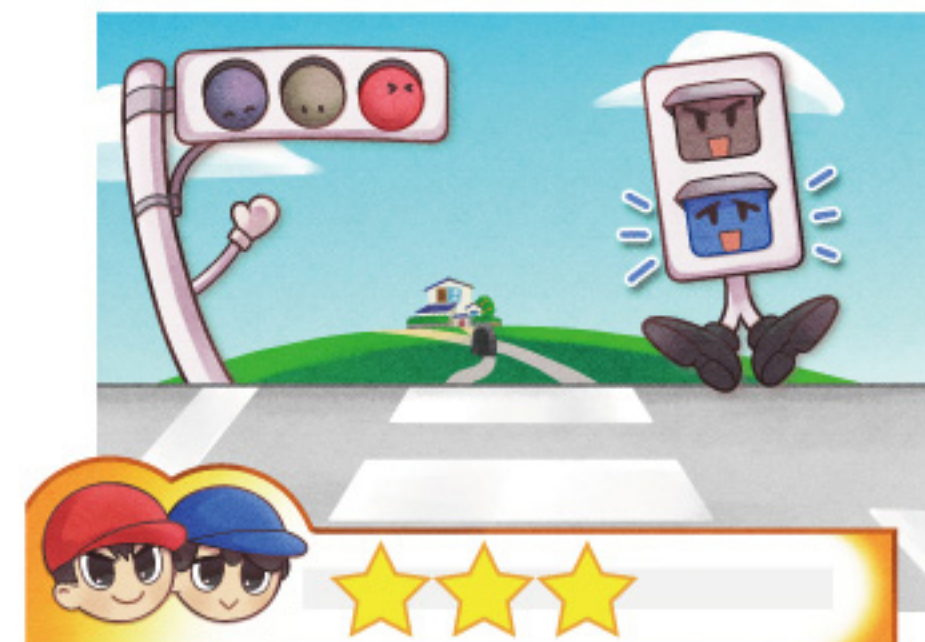
4P

標識の意味



6P

横断歩道での確認動作



15P

交通安全意識と思いやり



18P

横断歩道での確認動作



子どもたちに楽しく交通ルールを知ってもらうためにご利用ください♪



カイくん

コンちゃん

京都府交通安全協会マスコットキャラクター

# ほし えんしゅつ お星さまグット演出セット

あお せん  
青い線き とにそって切り取って使つかってね。

●厚紙あつがみや発砲スチロールはっほうなどに張り付けると使つかいやすいよ。

●お星さまほしやお星さまグージほしはセロテープやマグネット  
などを張り付けはて使つかってみてね。

はさみの使つかい方かたのおやくそく

- ①振り回ふりまわさない
- ②おしゃべりしないで静しずかにきる
- ③はさみを持って立たち歩あるかない
- ④使つかい終わおったらすぐにおかたづけ



ほくたちとのおやくそく!



①お星さまほし

②お星さまグージほし

